

## 紅花いんげん（北杜市須玉町・高根町）

### 1 地域の概要・栽培の歴史

八ヶ岳や茅ヶ岳南麓の標高の高い地域は、夏の冷涼な気候が紅花いんげんの栽培に適していることから、昭和40年代前半に栽培が始まったといわれている。その後、転作作物として水田への作付が増加し、昭和55年には須玉町黒森地区に花豆部会が設立され、産地形成が行われてきた。

その後、その他の地区でも生産が行われるようになってきた。



### 2 セールスポイント

紅花いんげんは、栽培適地が標高1000m以上の高冷地に限られ、適地でも結実率が10%以下と低いことから、供給量が非常に少なく、希少的価値が高い品目である。



### 3 出荷時期

9月中旬～11月下旬